

東京のまちづくり

特集1 ・秋の六義園 ～大名庭園で日本文化に親しもう～
・第24回 日比谷公園ガーデニングショー2026
・秋留台公園 ローズフェスタ2026秋

特集2 ・旧古河庭園「秋のバラフェスティバル」
・府中の森公園 にじいろ広場5周年
・企画展「コーヒーで旅する熱帯の国」

特別特集 ・「夢のみち」2026イベント開催！
・無電柱化の日フォトコンテスト作品募集中！



日比谷公園



秋留台公園 バラ園



旧古河庭園 カーディナルと洋館

No.205(9・10月号)は、令和8年7月31日時点の情報に基づき作成しています。

秋の六義園 ～大名庭園で日本文化に親しもう～

秋の六義園では、“日本文化に親しむ”をテーマに様々なイベントを開催します。

①伝統芸能「江戸太神楽」※雨天中止

令和8年10月17日(土) 12時・15時(各回30分)

②心泉亭で「お茶席体験」

令和8年10月30日(金) 11時・13時・14時
(各回30分程度)

参加費：税込2,000円(当日現金払い)

定員：各回10名

申込方法：オンラインによる事前申込制
※10月15日(木) 10時より受付(先着順)

③津軽三味線演奏会 ※雨天中止

令和8年11月3日(火・祝) 12時・15時(各回30分)

④庭園に映し出された「和歌の浦」パネル展

令和8年10月17日(土)～12月6日(日)

※イベントの詳細は決定次第、六義園公式HPにてお知らせします。

問合せ先

六義園サービスセンター

TEL：03-3941-2222

HP：https://www.tokyo-park.or.jp/park/rikugien/

問合せ先

六義園公式HP

六義園公式HP

六義園公式HP



江戸太神楽(過去開催の様子)



津軽三味線(過去開催の様子)

第24回 日比谷公園ガーデニングショー2026

今年も都会のオアシス日比谷公園で、秋の人気イベント「日比谷公園ガーデニングショー2026」の開催が決定しました。『つなげよう！花と緑とやすらぎをーfrom HIBIYAー』をテーマに、約180点の作品が展示される4部門のガーデンコンテストが園内を彩ります。そのほか、テント出展や花苗配布、キッチンカーなど、様々な催しが会場を盛り上げます。「花とみどりの力」がもつ可能性を日比谷から世界に発信する本イベント。入場無料ですので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開催期間 令和8年10月17日(土)～25日(日)

会場 都立日比谷公園

問合せ先

日比谷公園ガーデニングショー実行委員会事務局

TEL：03-5510-7185

HP：https://www.hibiya-gardening-show.com/

問合せ先

日比谷公園

ガーデニングショー

公式HP



日比谷公園ガーデニングショー(昨年の様子)

秋留台公園 ローズフェスタ2026秋

秋留台公園では、秋バラの見ごろに合わせ、地域の団体等の協力により「ローズフェスタ2026秋」を開催します。

開催期間 令和8年10月5日(月)～12日(月・祝)
10時～15時

内容 ①バラのポップリプレゼント
②ワークショップ
③縁日遊び
④昔遊び体験
⑤フルート演奏会
⑥キッチンカー等による飲食販売

※イベントごとに実施日が異なります。詳細は決定次第、秋留台公園公式HPにてお知らせします。

問合せ先

秋留台公園サービスセンター

TEL：042-559-6910

HP：https://www.tokyo-park.or.jp/park/akirudai/

問合せ先

秋留台公園

公式HP

秋留台公園公式HP



バラ園(過去開催の様子)



フルート演奏会(過去開催の様子)

イキモノのイキな話 155



2026年6月24日撮影

新しいパック(オオカミの群れ)の誕生

多摩動物公園 南園飼育展示第1係 友岡梨恵

2026年4月26日、多摩動物公園でタイリクオオカミの赤ちゃんが誕生しました。母親は「スイ」、父親は「カヨラン」です。スイは2024年にスイスから、カヨランは2025年にドイツから来園した新しいペアです。オオカミは「パック」と呼ばれる群れでくらす動物です。パックの仲間同士は協力しながら狩りや子育てを行います。しかし今回は新しいペアのため、助け合えるのはこの2頭だけでした。

ところが、産後のスイはカヨランを警戒し威嚇するようすが続いていました。スイは威嚇以外の時間は子のそばを離れようとせず、このまま飲まず食わずでは体調を崩してしまうのではと心配されました。そんな中、翌々日の夜間ビデオを確認すると、餌場から戻ってきたカヨランが巢の近くを通るとスイが姿を見せ、巢から少し離れた場所で落ち合っているようすが映っていました。どうやらカヨランが運んできた餌を、そこでスイに渡しているようです。この行動は、スイが自分で餌場に行けるようになるまで、毎日何度も続きました。

餌は受け取るものの、巢や子に近づくことは拒まれてきたカヨランでしたが、次第にスイの警戒心も和らぎ、生後25日ほど経つと、子どもたちと接する様子が見られるようになりました。子煩悩なカヨランの協力もあって、子どもたちはぐんぐん成長しましたが、新しく誕生したオオカミの家族の成長はまだこれからです。ぜひ一緒に見守ってください。

動物園の“かお”

上野動物園
オリイオオコウモリ



沖縄諸島に生息しています。夜だけでなく日中も活動し、主に果実を食べます。かぎ爪で逆さまにぶら下がるコウモリならではの姿を、西園「小獣館」でご覧いただけます。